
開講科目名：憲法研究（4単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：宍戸 圭介

《授業の概要》

【概要】

憲法の基本知識を整理し、判例・学説の理解を深めることを目標とする。
原則としてテキストに従って検討を進めるが、通説と異なる点については適宜コメントする。
なお、受講者に報告を求めることがある（評価対象とする）。

- 1 学習にあたって（ガイダンス、報告者決定）
- 2 憲法の概念と立憲主義
- 3 日本憲法史
- 4 日本国憲法の基本原理1…権力分立と法の支配、国民主権
- 5 日本国憲法の基本原理2…天皇制、平和主義
- 6 基本的人権総論1…基本的人権の憲法的保障とその限界、基本的人権の享有主体
- 7 基本的人権総論2…基本的人権の妥当範囲、国民の義務
- 8 包括的基本権1…幸福追求権
- 9 包括的基本権2…法の下での平等
- 10 精神的自由権1…思想・良心の自由、信教の自由と政教分離、学問の自由
- 11 精神的自由権2…表現の自由 (i)
- 12 精神的自由権3…表現の自由 (ii)
- 13 精神的自由権4…表現の自由 (iii)
- 14 精神的自由権5…集会結社の自由、通信の秘密
- 15 経済的自由権1…職業選択の自由
- 16 経済的自由権2…財産権
- 17 人心の自由と刑事手続上の保障
- 18 社会権1…生存権、教育を受ける権利
- 19 社会権2…労働権、労働基本権
- 20 参政権
- 21 人権保障のための権利
- 22 国会1…国会の地位、選挙
- 23 国会2…国会の組織と活動、国会の権能と議員の権能、国会議員の地位と特権
- 24 内閣
- 25 裁判所1…司法権
- 26 裁判所2…裁判所の組織と権能、司法権の独立
- 27 違憲審査制1…違憲審査制の意義と性格、違憲審査の方法と対象
- 28 違憲審査制2…憲法判断の方法とその効果
- 29 財政
- 30 地方自治

【評価方法】

授業参加60%、レポート40%

《テキスト》

市川正人『基本講義 憲法』（新世社、2014年）

《参考書》

各自、手許の六法、判例集を活用してほしい。
また、論点の整理にあたっては、下記参考書および一般的な体系書の利用を推奨する。

曾我部真裕ほか編『憲法論点教室』（日本評論社、2012年）

穴戸常寿『憲法 解釈論の応用と展開【第2版】』（日本評論社、2014年）
芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法 第6版』（岩波書店、2015年）
高橋和之『立憲主義と日本国憲法 第3版』（有斐閣、2013年）、同『憲法判例を読む』（岩波セミナーブックス、1987年）
佐藤幸治『日本国憲法論』（成文堂、2011年）
大石眞『憲法講義I 第3版』（有斐閣、2014年）、同『憲法講義II 第2版』（有斐閣、2012年）
木下智史ほか『事例研究 憲法 第2版』（日本評論社、2013年）
櫻井＝橋本『行政法 第5版』（弘文堂、2016年）